

令和 7 年度 第 1 回 がん相談支援センターのフィードバック体制についての意見交換会 議事録

令和 7 年 6 月 10 日(火) 15:00～17:00

出席者	医療機関	参加者	医療機関	参加者
21 名	愛媛県立中央病院	渋谷、箱岡	愛媛大学医学部附属病院	塩見、古川
	西条中央病院	松尾、森賀	済生会今治病院	富永、西部
	済生会松山病院	藤原	四国中央病院	高木
	十全総合病院	高橋	市立宇和島病院	大久保
	市立八幡浜総合病院	菊池幸恵、菊池和美、濱中	住友別子病院	大井、山地
	HITO 病院	守屋	松山赤十字病院	中田
	四国がんセンター	大西、福島		
司会	四国がんセンター	大西	敬称略 五十音順	
書記	済生会今治病院	富永		

1. フィードバック体制について意見交換

① 各施設からのアンケート結果報告、課題や改善点の取り組みについて

1) 四国がんセンター

- ・予約なしで相談可能だが対応が重なお待たせすることがあるため、相談員の応援体制、連絡体制、連絡方法について院内で検討中。
- ・がん相談支援センターがどのようなところか知らない、相談したことがないという意見があったため、がん相談支援センターの周知を行っていく。
- ・相談員の対応差については、マニュアルの見直しやモニタリングを行っていく。

2) 愛媛県立中央病院

- ・がん相談支援センターを知ったきっかけを追加し、医療者から知ったという件数が多かった。
- ・回収率が低い原因として地域連携室の職員ががん相談支援センターの役割を担っているため、相談者に伝わりづらいことが影響していると考えられる。
- ・電話相談は、がん相談支援センターへの相談として相談部門が明確であるが、今年度もアンケートは実施していない。他病院の取り組みを参考に電話相談者へのアンケート実施を検討していく。

3) 愛媛大学医学部附属病院

- ・相談窓口の周知が不足しているという意見があったため、周知方法の工夫を検討していく。入院予約時には周知しているが、頭に残っていない可能性があるため、繰り返し周知を行っていく。
- ・相談対応に関してはおおむね満足が得られており、心理的サポートと丁寧な情報提供を引き続き行っていきたい。

4) 市立宇和島病院

- ・不安がなくなった、安心したという意見があり、今後もより良い相談対応につながるよう面談を振り返り、検討・共有を行っていく。
- ・専門性を活かした相談対応はできている一方で求められている情報提供ができていないことがある。よく聞かれる内容や情報源を共有したり、基本的な知識を習得できる機会を設けていく。

5) 済生会今治病院

- ・化学療法室、放射線治療室、入退院支援センターでの配布を行い、回収数が増加した。
- ・声をかけづらい、相談しにくいという意見があったため、窓口に声をかけやすいように掲示をしたり、窓口を向いて対応する職員を配置することを検討する。
- ・がん相談支援センターを知らないという意見が半数あったため、化学療法室や放射線治療室での初回オリエンテーションで周知を行ったり、院内職員への周知を徹底していく。

6) 四国中央病院

- ・がん相談支援センターの周知を病院内でどのように行っていくか検討していく。
- ・がん相談の件数に比べて回収にいたらないところもあるため、他病院の意見も参考にしながらアンケートの回収のタイミングなどを検討していきたい。

7) 住友別子病院

- ・相談対応者のタイムスケジュールなどにより渡し忘れてしまうことがあったため、応援体制など検討してく。
- ・アンケートを配布数が相談員によって偏りがあるため、相談対応の質の担保を課題として挙げていきたい。

8) 松山赤十字病院

- ・相談者の状況によってアンケートを配布できないときがあり、結果にバリエーションが生じている可能性があるため、次年度へ向けて配布方法について検討していきたい。
- ・二次元バーコードからの回答数を増加するために他病院の意見を参考に対応を検討していきたい。

② 専門部会での取り組みについて

- ・専門部会共通の質問項目について変更を検討してはどうか。
- ・QA研修での活用など、相談員研修ワーキングとも連動できるような質問項目も検討していけるとよいのではないかな。
- ・専門部会共通の質問項目の変更については、8施設中5施設の賛同あり、変更について検討していくこととなる。
- ・来年度から新しい質問項目でのアンケート実施を目標に準備を進めていくが、移行期間として従

来の質問項目で実施したアンケートの共有も行う。

- ・例年、第2回フィードバック意見交換会を、第2回の専門部会前に行うので、そこで協議できるとよい。11月頃に予定される都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会での動向も踏まえて検討できるとよいので、12月頃を目安に意見交換会を予定する。
- ・意見交換会で協議ができるよう各施設で質問項目案を考えてきていただく。

③ 専門部会での共有方法(様式)について

- ・昨年度と同じ様式、項目で記載する。
- ・相談支援センターで対応した人は「来所」、相談員が病棟その他の場所に赴いて対応した人は「介入」という文言で統一していく。

2. 広報ワーキング活動について

① がんサポートブックえひめの改訂、発行について

- ・冊子は残していく方針で決定。コストの観点や改訂に時間がかかるなどの課題があるため、来年度はサイズ変更や内容の見直しを検討していく。
- ・愛媛県内の情報を中心に、がんサポートサイトえひめとの棲み分け、連動を考えながら、内容は取捨選択していく。
- ・冊子を各施設で印刷し、配布できるようにしていく。

② 広報ワーキング活動について

- ・今年度はがんサポートブックえひめの見直しを中心に取り組んでいく。時期については、今後検討し案内していく。
- ・その他、取り組みたいことについては特に意見なし。

3. その他

特になし。